

事務事業名		スポーツツーリズムパイオニア事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	スポーツ立市推進係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	2 スポーツツーリズムの推進					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	2 スポーツ大会等スポーツイベントの招致					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15069	一般	10	5	1	スポーツツーリズムパイオニア事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成26年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市スポーツ立市推進基本計画					
	実施方法		直営		事業分類		支援事業				
	リーディングプロジェクト		該当		市長マニフェスト		3-14				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
スポーツツーリズム普及を図るために市外からの誘客を見込めるスポーツ大会を誘致・開催し、主催者、ボランティアと協力しツーリズムのモデル事業として大会を盛り立てる。			<ul style="list-style-type: none"> 石井琢磨朗杯選抜中学野球佐野大会 東アジア太平洋地域女子クリケット選手権2014佐野大会 関東高等学校駅伝競走大会 							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			スポーツツーリズムパイオニア事業数	事業		3	3	3	3	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①大会イベントの主催者 ②大会イベントの参加者・観戦者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			大会主催者	団体		3	3	3	3	
			大会参加者・観戦者	人		3,000	3,000	3,000	3,000	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①市外からの誘客を図り、継続的に大会イベントを開催してもらう。 ②誘致した大会イベントに進んで参加してもらう			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			佐野市の対応に満足した大会イベント主催者の割合	%		50.0	55.0	60.0	65.0	
			佐野市での大会イベント開催に満足した参加者・観戦者の	%		50.0	55.0	60.0	65.0	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
本市でスポーツ事業を開催してもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			誘致できたスポーツ事業数	事業		3	3	4	5	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		938	1,006	1,006	1,006					
	事業費計(A)	千円	0	938	1,006	1,006	1,006					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
					報償物資費	94	報償物資費	81	報償物資費	81	報償物資費	81
					消耗品費	13	消耗品費	141	消耗品費	141	消耗品費	141
				業務委託料	84	食糧費	36	食糧費	36	食糧費	36	
				作成委託料	667	作成委託料	668	作成委託料	668	作成委託料	668	
		補助金	80	補助金	80	補助金	80	補助金	80			
人件費	人		11	11	11	11						
のべ業務時間	時間		400	400	350	300						
人件費計(B)	千円	0	1,576	1,576	1,379	1,182						
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	2,514	2,582	2,385	2,188						

事務事業名	スポーツツーリズムパイオニア事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	スポーツ立市推進係
-------	------------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市総合計画・後期基本計画(平成26年度～平成29年度)に、リーディングプロジェクトである「スポーツ立市の推進」を新たに掲げたことにより、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年12月の「観光立国推進基本法」や平成22年8月「スポーツ立国戦略」の策定に端を発し、また2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催が決定されたことにより、大きな経済効果が期待されるなどスポーツを取り巻く環境は大きな変化してきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事務事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	スポーツ大会イベントを誘致し、もてなしや受入れ体制の向上などで今後の交流人口の増加に繋がる先導的役割を果たす事業であり、スポーツツーリズムの推進に欠くことができない事業であり、施策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	スポーツ大会イベントを誘致するには、その大会イベントを主催する団体へのアプローチ、また連絡調整を図るには、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	誘客の見込めるスポーツ大会イベントを対象としており、それらの大会イベントの主催者と参加者・観戦者を対象にし、またその各々の評価をもとに事業の展開・拡充を図るので、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	この事業はまだ始めたばかりの事業であり、いろいろな問題点が山積しており、成果向上の余地はある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	* 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	この事業は始まってばかりで、市の担う役割は非常に大きく、またこの事業を進めるにあたり必要最小限の予算を計上しているため、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	大会イベント参加者・チームは、一部の事業を除き参加料を納め大会に参加している。また、観戦者に対しては、入場料を徴しているものではないので、入場料を徴することまではなじまず、現在の参加料を徴していることまでは適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	市がツーリズムの役割を担わなくとも、大会イベント事業者や市民などの協力により、来訪者が満足感を得られる受入れができるようになれば休止・終了できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			